2021年 10月 5日（火）
愛　知　県　芸　術　劇　場
（公益財団法人愛知県文化振興事業団）
広報･マーケティンググループ
☎ 052-955-5506

公益財団法人 愛知県文化振興事業団

＜Press Release＞

報 道 各 位

若者たちの夢や友情を描く青春群像劇
コロナ禍の状況を前向きに新たな視点でとらえ直す

NISSAY OPERA 2021 プッチーニ作曲

オペラ ラ・ボエーム

愛知芸文フェス

全4幕
宮本益光訳詞による
日本語上演･日本語字幕付

NISSAY OPERA 2021『ラ・ボエーム』©ニッセイ文化振興財団 photo by Chikashi Saegusa

お問合せ

愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）
広報・マーケティンググループ（小出） 企画制作グループ（水野）
〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2　Tel 052-955-5506　Fax 052-971-5541
E-mail: pr@aaf.or.jp　WEB: https://www-stage.aac.pref.aichi.jp

「NISSAY OPERA 2021 プッチーニ作曲 オペラ『ラ・ボエーム』全 4 幕（宮本益光訳詞による日本語上演・日本語字幕付）」を 10 月 30 日（土）に当劇場大ホールで開催します。

本公演は、オペラをより多くの方に楽しんでもらいたいとの思いで名作シリーズを上演している日生劇場が、2017 年に初演したプロダクションです。

『ラ・ボエーム』は、イタリア人作曲家のプッチーニによる最高傑作と称され、1896 年の初演以来、現在も世界中で上演されています。

本公演で指揮を務めるのは、近年、オペラやシンフォニーの両分野で国際的に活躍する園田隆一郎。オペラの本場イタリアのボローニャ歌劇場等で研鑽を積んだ国際的に活動する同氏のタクトにご注目ください。

演出は、五島記念文化賞において新人賞受賞（2008 年度）の経歴を持つ伊香修吾（いこう　しゅうご）。初演時は、ヒロインであるミミの死後に残された 5 人の若者達による過ぎ去った日々の回想をコンセプトに演出しました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響を危惧し、初演のままでは多くの出演者が密になるため、演出を変更。「単純に舞台上から出演者を減らす演出はしない」という想いを関係者全員と共有しながら、立ち位置や、合唱の形態などに工夫を凝らして臨みました。仕上がった公演について伊香は「コロナ禍の状況で今現在しかできない『ラ・ボエーム』を創ろうと思った」と、語っています。

ソリストには、ミミ役の安藤赴美子（あんどう　ふみこ）、ロドルフォ役の宮里直樹（みやさとなおき）らが出演。また、管弦楽は名古屋フィルハーモニー交響楽団、合唱は C.ヴィレッジシンガーズが務めます。

なお、10 月 28 日（木）には、地域の将来を担う子どもたちに質の高い舞台芸術に触れてもらう「愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室 2021／ニッセイ名作シリーズ 2021」として実施。当劇場と日生劇場が県内の約 1,500 名の中学生を公演に招待します。

この秋、極上のオペラ『ラ・ボエーム』をぜひ劇場でお楽しみください。

オペラ初心者に分かり易い日本語で人気演目を上演

本公演は、オペラを鑑賞したことがない方にもお楽しみいただけます。通常、オペラは「外国語の歌唱＋日本語字幕」で行なうことが多く、敷居を高く感じる方もいらっしゃいますが、本公演は「日本語の歌唱＋日本語字幕」で全体的に分かり易くなっています。

また、ストーリーは分かりやすく、初演から 120 年以上が経った今もなお、世界中で上演されている人気演目であり、観る人を惹きつける魅力的な公演です。テレビや映画では体験できない目の前で次々に起きる青春群像は、きっと心に刻まれる公演になるでしょう。

指揮者：園田 隆一郎 インタビュー

パリの屋根裏部屋に暮らす、貧しいけれど希望に満ちた若者たち。彼らの恋愛と友情、喜びと悲しみをプッチーニの美しいオーケストラがじっくりと描いていきます。私自身、今まで何度も観て聴いて、何度も指揮してきましたが、毎回新鮮な感動を与えてくれるオペラです。今回また新たなキャストと、演出家伊香修吾さんの新たな視点によってどんな『ラ・ボエーム』が生まれるのか、とても楽しみにしています。今まさに青春を謳歌している若い皆さんも、かつて若者だった皆さんも、ぜひ聴きにいらしてください。

指揮：園田 隆一郎

https://youtu.be/TAGJtmPOQbU

演出家：伊香 修吾 インタビュー

『ラ・ボエーム』は、人と人との距離がとても近いオペラです。男たちは狭い屋根裏部屋に集い、恋人たちは肩を寄せ合って雑踏の中へと姿を消します。ところが私たちは今、人間関係のそうした物理的な近しさを「密」として忌避する世界に生きています。2017 年版の再演が予定されていた本公演も姿を変えることになりますが、前回の演出を単に手直しするのではなく、2017 年版と向かい合うような新しい 2021 年版をつくりたいと考えています。

演出：伊香 修吾

https://youtu.be/s7aj0ijQIzQ

2021 年 6 月 東京公演直前のインタビューより

公 演 情 報

公　演　名｜**NISSAY OPERA 2021　プッチーニ作曲 オペラ『ラ・ボエーム』**
全４幕（宮本益光訳詞による日本語上演・日本語字幕付）

日　　時｜2021 年 10 月 30 日（土）14:00 開演（13:00 開場）

会　　場｜愛知県芸術劇場 大ホール

入 場 料 金｜全席指定　S 席 10,000 円（1 階席・2 階席）　A 席 8,000 円（3 階席）
B 席 6,000 円（4 階席）　C 席 4,000 円（5 階席）
U25（25 歳以下）各半額

※ディスタンスシート（2 席または 1 席ごとに空けた座席エリア）あり。
※U25 は公演日に 25 歳以下対象（要証明書）。
※車椅子席は 劇場事務局（☎ 052-211-7552）／apat_info@aaf.or.jp にて取扱い。
※未就学児入場不可。 託児サービス あり（有料・要事前予約）。
※やむを得ない事情により、出演者等が変更する場合があります。
※開演後のご入場はお待ちいただく場合があります。
○託児サービス
対象：満 1 歳以上の未就学児　　料金：1 名につき 1,000 円（税込）
申込締切：10 月 23 日（土）
お問合せ：オフィス・パレット(株) ☎0120-353-528（携帯からは 052-562-5005）
月～金 9:00～17:00、土 9:00～12:00（日・祝日は休業）

発 売 日 時｜販売中

販 売 場 所｜**○愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス**
https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/
○愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
※平日 10:00-19:00　土日祝休 10:00-18:00（月曜定休／祝休日の場合、翌平日）ほか
＜購入方法によりチケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。＞

主　　催｜愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）
公益財団法人ニッセイ文化振興財団［日生劇場］

協　　賛｜日本生命保険相互会社

助　　成｜文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

当劇場の主催事業における新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みは以下のとおりです。ご来場前にご確認ください。
https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/about z /news2020_01.html

学 校 招 待 公 演

公　演　名｜**愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室 2021／ニッセイ名作シリーズ 2021**
オペラ『ラ・ボエーム』
日　　時｜2021 年 10 月 28 日（木）13:30 開演（12:30 開場）
会　　場｜愛知県芸術劇場 大ホール
来　場　者｜県内の中学校 12 校、特別支援学校 1 校　約 1,500 名の生徒および引率の教員
入 場 料 金｜招待公演（無料）
主　　催｜愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）
公益財団法人ニッセイ文化振興財団［日生劇場］
協　　賛｜日本生命保険相互会社
助　　成｜文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
企 画 制 作｜公益財団法人ニッセイ文化振興財団［日生劇場］

愛知県芸術劇場の鑑賞教室シリーズは、学校単位で小・中学生を公演に招待する取り組みとして、2015 年度からスタートしました。これまでにのべ 12,529 人の児童・生徒がオペラやダンスなどの公演を鑑賞。若年層の芸術に触れる機会の拡大・拡充を図るために、学校や教育委員会と連携しながら実施してきました。

過去に本鑑賞教室を鑑賞した生徒からは「出演者の歌を聞いてオペラに興味を持ちました」や「家族ともう一度行ってみたいです」、引率した教員からは「今まで多くの生徒が体験したことのないオペラというジャンルをとても分かり易く、楽しく鑑賞させていただき、生徒たちの興味関心が広がった」などの感想をいただきました。

本年度は、全国の中高生を無料で招待する「ニッセイ名作シリーズ」公演として日生劇場が企画・制作したオペラ「ラ・ボエーム」を上演いたします。

今後も県内の劇場や教育機関等と連携し、児童・生徒の芸術文化体験の充実を図る「劇場と子ども 7 万人プロジェクト」の一環として進めてまいります。

劇場と子ども 7 万人プロジェクト

愛知県内には、小・中学生が一学年あたり約 7 万人います。義務教育期間中にすべての子どもたちが、一度は劇場を訪れてくれることを目指し、愛知県芸術劇場では、2015 年度から地域の将来を担う子どもたちを劇場に招待し、質の高い舞台芸術に触れてもらうことによって、子どもの文化芸術体験の充実を図る「劇場と子ども 7 万人プロジェクト」を進めています。

参　考

日生劇場
NISSAY THEATRE

日生劇場がお届けする子どもたちのための無料鑑賞教室
ニッセイ名作シリーズについて

日生劇場は日本生命保険相互会社の協賛により、オペラ、クラシックコンサート、人形劇などの多彩なジャンルの公演に、小中高生を無料でご招待する「ニッセイ名作シリーズ」を展開しています。この「ニッセイ名作シリーズ」は、1964 年から 50 年間にわたって小学校 6 年生をミュージカルへ無料招待してきた「ニッセイ名作劇場」（約 5,000 公演・777 万名）、及び 1979 年から 34 年の間、中高生にオペラを低廉な料金で提供してきた『青少年のための「日生劇場オペラ教室」』（約 270 公演・33 万名）を前身とするものです。

2014 年からはこの二つの取組を発展させ、「ニッセイ名作シリーズ」として日生劇場はもとより全国の劇場で公演しています。舞台芸術をより深く理解していただけるように、オペラ公演とバレエ公演では、事前に作品を学習できる DVD の提供や出張授業を行うのも本シリーズの特長です。
今年度は、6月10日の日生劇場からスタートし、全11都市で約3万8千名を、学校等の単位で無料招待する予定です。

これからの社会を支える青少年の「豊かな情操」や「多様な価値観」を育むために、全国各地で優れた舞台芸術に触れる機会を提供していきます。

【ニッセイ名作シリーズ上演実績】

2017年	オペラ・バレエ・クラシックコンサート・人形劇	37公演	37，144名
2018年	オペラ・バレエ・クラシックコンサート・演劇	35公演	34，439名
2019年	オペラ・バレエ・クラシックコンサート・人形劇	41公演	43，767名
2020年※	オペラ	3公演	1，363名
2021年(年初計画)	オペラ・バレエ・音楽劇・人形劇	36公演	約38，000名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、11月の日生劇場オペラ公演のみ実施